

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について（周南市）

1 調査の概要

(1) 目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 上記のような取組を通じ、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査期日 令和3年5月27日（木）

(3) 調査の方法 悉皆調査

(4) 調査を実施した校数・児童生徒数

学 年	学校数	児童生徒数
小学校第6学年	26校	児童 1、134人
中学校第3学年	13校	生徒 1、112人

(5) 調査内容

- ① 教科に関する調査（国語、算数・数学）
 - ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - 児童生徒に対する調査 【小学校…69項目 中学校…69項目】
 - 学校に対する調査 【小学校…91項目 中学校…91項目】
- ※ 新型コロナウイルスに関する質問が追加されているため、質問項目が増加している。

参考データ 令和3年度 平均正答率（％）

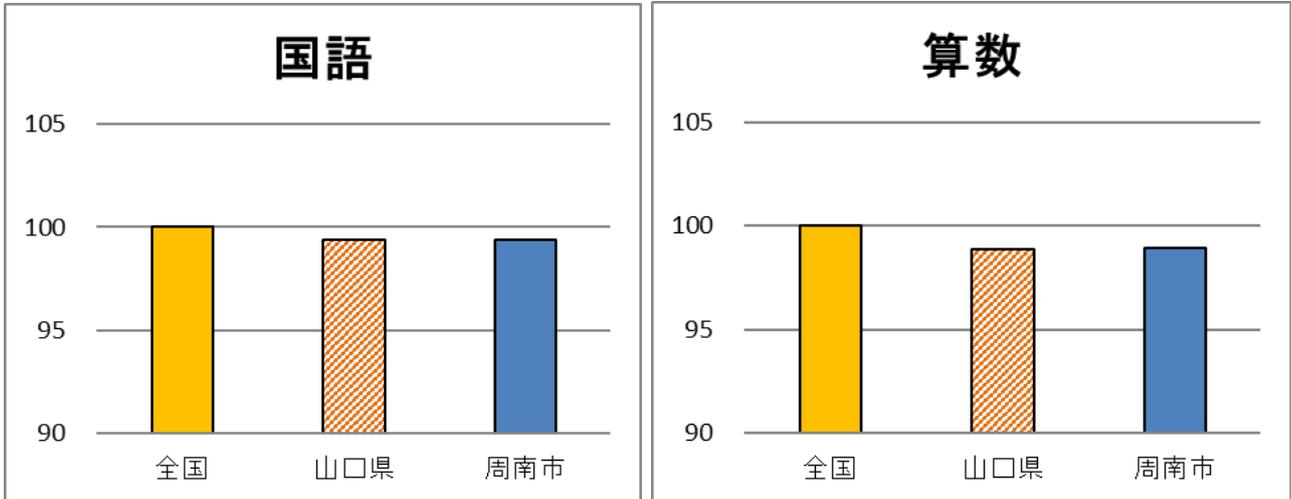
	小 学 校		中 学 校	
	国語	算数	国語	数学
全 国	64.7	70.2	64.6	57.2
山口県	64.3	69.4	65.0	57.5

2 結果の概要

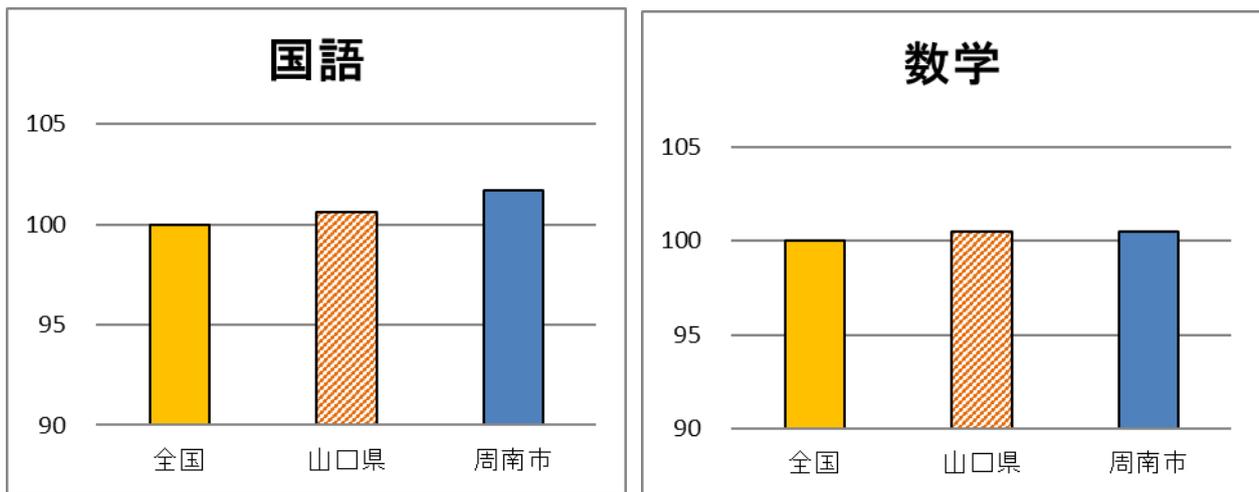
(1) 教科に関する結果（グラフ）

下のグラフは、令和3年度における全国平均正答率を100としたときの周南市と山口県の平均正答率の比を算出したものである。

<小学校>



<中学校>



(2) 教科ごとの結果

※ 国や県の平均正答率との比較について、次のように表現する。

- ・ 1%未満の差 . . . 「同等」
- ・ 1%以上2%未満の差 . . . 「やや」
- ・ 2%以上4%未満の差 . . . 「かなり」
- ・ 4%以上の差 「大きく」

① 小学校国語

平均正答率が全国平均、県平均と同等である。

【成果が見られた点】

- 文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握すること〔問題番号 2 一〕
(選択式、全国正答率 77.7% 全国をかなり上回る)
- 思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うこと〔問題番号 2 二〕
(選択式、全国正答率 87.6% 全国をかなり上回る)

【課題のある点】

- 目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見つけること
〔問題番号 2 三〕(記述式、全国正答率 34.6% 全国と同等)
- 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること〔問題番号 2 四〕
(記述式、全国正答率 29.9% 全国を大きく下回る)
- 自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考慮すること
〔問題番号 2 四〕(選択式、全国正答率 64.9% 全国を大きく下回る)

② 小学校算数

平均正答率が全国平均、県平均と同等である。

【成果が見られた点】

- 棒グラフから、数量を読み取ること〔問題番号 3 (1)〕
(選択式、全国正答率 95.8% 全国と同等)
- 条件に合う時刻をもとめること〔問題番号 1 (4)〕
(短答式、全国正答率 89.2% 全国と同等)
- 小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適応して、基準量を 1 としたときに比較量が示された少数にあたる理由を記述すること
〔問題番号 4 (3)〕(記述式、全国正答率 51.5% 全国を大きく上回る)

【課題のある点】

- 複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述すること
〔問題番号 2 (3)〕(記述式、全国正答率 46.0% 全国をやや下回る)
- データを二次元の表に分類整理すること〔問題番号 3 (3)〕
(選択式、全国正答率 67.5% 全国を大きく下回る)
- 帯グラフであらわされた複数のデータを比較し、示された特徴を持った項目とその割合を記述すること〔問題番号 3 (4)〕(記述式、全国正答率 52.0% 全国をかなり下回る)

③ 中学校国語

平均正答率が全国平均と同等、県平均をやや上回っている。

【成果が見られた点】

- 話し合いの話題や方向を捉えること〔問題番号1一〕
(選択式、全国正答率89.7% 全国をかなり上回る)
- 質問の意図を捉えること〔問題番号1二〕
(選択式、全国正答率92.5% 全国をかなり上回る)

【課題のある点】

- 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くこと〔問題番号2一〕(選択式、全国正答率24.8% 全国をかなり下回る)
- 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつこと〔問題番号3四〕(記述式、全国正答率20.5% 全国と同等)

④ 中学校数学

平均正答率が全国平均、県平均と同等。

【成果が見られた点】

- 与えられたデータから中央値を求めること〔問題番号5〕
(短答式、全国正答率84.5% 全国をかなり上回る)
- 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ること〔問題番号7(1)〕(短答式、全国正答率93.5% 全国と同等)
- ヒストグラムからある階級の度数を読み取ること〔問題番号8(1)〕
(短答式、全国正答率83.0% 全国をかなり上回る)

【課題のある点】

- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができること〔問題番号7(2)〕(記述式、全国正答率27.7% 全国をかなり下回る)
- データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること〔問題番号8(3)〕(記述式、全国正答率11.1% 全国をかなり下回る)
- ある条件の下で、いつも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現すること〔問題番号9(3)〕(短答式、全国正答率28.8% 全国をかなり下回る)

(2) 生活習慣や学習習慣等に関する結果

※ 国や県の回答率と比較して、0%以上2%未満の差は「同程度」と表現する。

① 児童に対する調査（小学校）

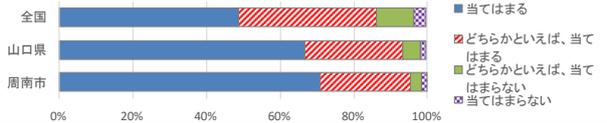
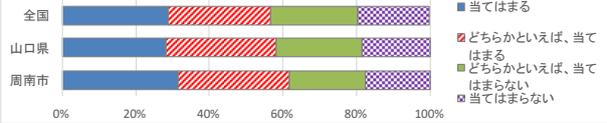
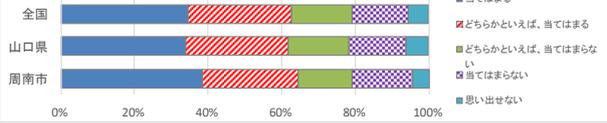
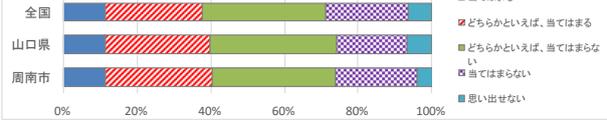
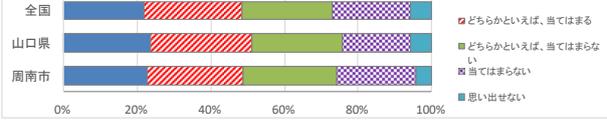
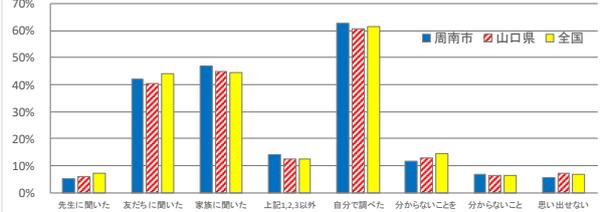
質問事項	グラフ	分析・評価
朝食を毎日食べていますか		<p>国や県と比べ、「している」とした児童の割合は同程度。一昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、増加している。</p>
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか		<p>国や県と比べ、肯定的回答をした児童の割合はやや低い。一昨年度は調査なし。</p>
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか		<p>国や県と比べ、肯定的回答をした児童の割合は同程度。一昨年度は調査なし。</p>
自分には、よいところがあると思いますか		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は同程度。一昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、やや減少している。</p>
将来の夢や目標を持っていますか		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした児童の割合はやや高い。一昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、やや減少している。</p>
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は同程度。一昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、やや減少している。</p>
学校に行くのは楽しいと思いますか		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は同程度。一昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、やや減少している。</p>
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした児童の割合はやや低い。一昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、やや減少している。</p>
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）		<p>「2時間以上」と回答した児童の割合は、国に比べ低く、県と同程度である。一昨年度と比較し、「2時間以上」と回答した市内の児童の割合は、減少している。</p>
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）		<p>「1時間以上」と回答した児童の割合は、国や県と同程度。一昨年度と比較し、「1時間以上」と回答した市内の児童の割合は、かなり減少している。</p>
今住んでいる地域の行事に参加していますか		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は高い。一昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、かなり減少している。</p>
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした児童の割合はやや高い。一昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、同程度である。</p>

<p>5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか</p>		<p>国や県と比べ、「週1回以上使用した」と回答をした児童の割合はやや低い。一昨年度と比較し、「週1回以上使用した」と回答をした市内の児童の割合は、同程度である。</p>
<p>5年生までに受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え（自分と同じところや違うところ）を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした児童の割合はやや低い。一昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の児童の割合は、同程度である。</p>
<p>5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は同程度である。一昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の児童の割合は、やや減少している。</p>
<p>学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は同程度である。一昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の児童の割合も、同程度である。</p>
<p>道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか</p>		<p>肯定的な回答をした児童は、国に比べてやや高く、県と同程度である。一昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の児童の割合も、同程度である。</p>
<p>新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は同程度である。</p>
<p>新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は同程度である。</p>
<p>新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした児童の割合は同程度である。</p>
<p>新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていましたか（複数選択）</p>		<p>本市では、休校期間中友達に聞いたり家族に聞いたりした児童が国や県よりもやや多かった。</p>

② 生徒に対する調査（中学校）

質問事項	グラフ	分析・評価
<p>朝食を毎日食べていますか</p>		<p>国や県と比べ、「している」とした生徒の割合はやや高い。一昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、やや減少している。</p>
<p>携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか</p>		<p>国と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合は同程度、県と比べると高い。一昨年度は調査なし。</p>
<p>普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか</p>		<p>「3時間以上」と回答した生徒の割合は、国や県と比べて少ない。</p>

<p>自分には、よいところがあると思いますか</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合はやや高い。一昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、同程度。</p>
<p>将来の夢や目標を持っていますか</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合はやや高い。一昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、やや減少している。</p>
<p>いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合はやや高い。一昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、やや増加している。</p>
<p>学校に行くのは楽しいと思いますか</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合は高い。一昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、やや増加している。</p>
<p>家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合はやや高い。一昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、かなり増加している。</p>
<p>学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）</p>		<p>「2時間以上」と回答した生徒の割合は、国や県と比べ高い。一昨年度と比較し、「2時間以上」と回答した市内の生徒の割合は、増加している。</p>
<p>学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）</p>		<p>「1時間以上」と回答した生徒の割合は、国や県と比べ高い。一昨年度と比較し、「1時間以上」と回答した市内の生徒の割合は、やや減少している。</p>
<p>今住んでいる地域の行事に参加していますか</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合はかなり高い。一昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、やや減少している。</p>
<p>地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合はかなり高い。一昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、増加している。</p>
<p>1、2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか</p>		<p>国や県と比べ、「週1回以上使用した」と回答をした生徒の割合はやや高い。一昨年度と比較し、「週1回以上使用した」と回答をした市内の生徒の割合は、同程度である。</p>
<p>1、2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達と考え（自分と同じところや違うところ）を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合はかなり高い。</p>
<p>1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合はやや高い。一昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、やや増加している。</p>
<p>学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合は高い。一昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合も、同程度である。</p>

<p>道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか</p>		<p>肯定的な回答をした生徒は、国に比べて非常に高く、県と比べてやや高い。一昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合はやや増加している。</p>
<p>英語の勉強は好きですか</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合は高い。一昨年度と比較し、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、同程度である。</p>
<p>新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか</p>		<p>国や県と比べ、肯定的な回答をした生徒の割合は同程度である。</p>
<p>新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか</p>		<p>肯定的な回答をした生徒は、国に比べてやや高く、県とは同程度である。</p>
<p>新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか</p>		<p>肯定的な回答をした生徒は、国と比べて同程度であり、県よりはやや低い。</p>
<p>新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていましたか（複数選択）</p>		<p>本市では、家族に聞いたり、自分で調べたりした生徒が国や県よりもやや多かった。</p>

③ 学校に対する調査

下に示した調査項目は、周南市内の小・中学校の学校質問紙への回答について、全国と比較して、望ましい傾向にある項目を○で、やや課題の見られる項目を●で示したものである。（学校の教育活動全般についての前年度までの取組等について回答）

学習指導、校内研修に関すること

- 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか
- 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか
- 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか
- 授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか
- 児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか

- 調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか
- 調査対象学年の児童に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか
- 調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか
- 調査対象学年の児童に対して、前年度までに、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習を、計画的に取り入れましたか
- 調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等の授業などで、調べたことや考えたことを800字（中学校は1200字）（400字詰め原稿用紙2枚、中学校は3枚）程度で児童にまとめさせたことがありましたか
- 〈小学校において〉調査対象学年の児童に対する指導において、前年度に、教員が大型提示装置（プロジェクター、電子黒板など）などのICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか
→「ほぼ毎日」と回答した割合が、全国に比べ低い

小中連携に関すること

- 前年度までに、近隣等の小中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか
- 前年度までに、近隣等の小中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか
- 平成31年度（令和元年度）の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有しましたか

地域連携に関すること

- 保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか
- 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか
- 保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか

3 今後の取組

【周南市教育委員会】

- 本市独自に作成し、継続して修正・改善を加えている「授業づくりのスタートライン」の更なる周知徹底を図り、授業の導入や終末の改善、言語活動の充実に焦点を絞り、引き続き授業改善に取り組んでいく。

授業づくりのスタートライン - 小学校 - Ver. R3
周南市教育委員会

押さえておきたいポイントおよび留意事項

導入	<p>めあて を示す</p> <ul style="list-style-type: none"> この時間に身に付けさせたい資質・能力等を教師が明確にもち、児童にとって創感性のあるめあてや学習課題を設定しましょう。 めあてを示すタイミングを工夫し、黒板に分かりやすく示しましょう。 <p>めあての妙味を!! 「学習への意欲が高まる」「活動の見通しがある」「長すぎず、まとめと連動する」ようなめあてを意識しましょう。 (例) なぜ○○だろうか ○○になるひみつ (黒板) を探ろう ○○の工夫を見つけよう など</p>
展開	<p>学習課題の追究を促す 主発問 をする</p> <ul style="list-style-type: none"> 主発問に対して、児童が自分の考えをもち、表現する場を設けましょう。 <p>学習課題の解決に向けた 活動の場 を設ける</p> <ul style="list-style-type: none"> 交流の場を工夫し、児童が自由な考えを述べたり認めたりできるようにしましょう。 <p>身に付けたことを実感させるための 振り返り を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> めあてに対応したまとめを行います。 振り返りでは、何が分かって(できて)、何が分からなかった(できなかった)かを児童に自覚させ、本時の学びを次時の学習や家庭学習につなげる工夫をしましょう。 <p>どんな形? ・振り返りシートで ・ノートに記入して ・ワークシートの中で ・口頭、筆字で など 何を振り返る? ・めあてが達成できたか ・本時の学習が理解できたか ・自分や友達の上だったところ ・次の時間にどんな学習をしたいか など</p>
終末	<ul style="list-style-type: none"> 児童にとって、分かりやすい(学習したことがよく分かる)板書となっているか確認してみましょう。 「生徒指導の3機能」(周南市教育委員会)の視点から授業を見直してみましょう。 ・自己存在感 ・自己決定の場 ・共感的な人間関係 特別支援教育の視点からも授業を見直してみましょう。 (例) 指示は短く、はっきりと、落ち着いた口調で など

授業づくりのスタートライン - 中学校 - Ver. R3
周南市教育委員会

押さえておきたいポイントおよび留意事項

導入	<p>めあて を示す</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時に身に付けさせたい資質・能力等を教師が明確にもち、適切なめあてや学習課題を設定しましょう。 「授業のめあて」や「学習課題」は、提示するタイミングを工夫し、黒板に分かりやすく示しましょう。 <p>めあての妙味を!! 「学習への意欲が高まる」「活動の見通しがある」「長すぎず、まとめと連動する」ようなめあてを意識しましょう。 (例) ○○の視点で□□を捉え直そう ○○になる理由を考えよう 工夫して○○しよう など</p>
展開	<p>めあての達成や学習課題の追究に向けた 主発問 をしたり 活動 を仕組んだりする</p> <ul style="list-style-type: none"> 主発問に対して、生徒一人ひとりに自分の考えをもたせましょう。 思考力・判断力・表現力等を育成するために、授業形態を工夫し、言語活動を積極的に仕組みましょう。 生徒が考えるために必要な情報・資料が十分を確認しましょう。 <p>めあてや学習課題に対応した まとめ を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時で学びとらせたことを、教師がまとめるだけでなく、生徒一人ひとりに自分の言葉でまとめさせるなどの工夫も大切です。 <p>授業の 振り返り を行い、学習内容の定着を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> めあてを達成したかをはかることができる活動(評価活動)を仕組みましょう。 生徒に授業を振り返らせ、何が分かって(できて)、何が分からなかった(できなかった)かを自覚させ、家庭学習につなげる工夫をしましょう。 <p>何を振り返る? ・めあてが達成できたか ・本時の学習が理解できたか ・自分や友達の上だったところ ・次の時間にどんな学習をしたいか など</p>
終末	<ul style="list-style-type: none"> 構造的な板書(学習したことがよく分かる板書)にするために、板書計画をもって授業に臨みましょう。 周南市教育委員会が示す「生徒指導の3機能」の視点から授業を見直してみましょう。 ・自己存在感 ・自己決定の場 ・共感的な人間関係 特別支援教育の視点からも授業を見直してみましょう。 (例) 指示は短く、はっきりと、落ち着いた口調で など

- 各小中学校における関係者を招集し、学力向上担当者会議を開催する。全国学力・学習状況調査の結果分析に基づく本市の傾向や課題を周知するとともに、すぐに実践できる授業改善の具体的例示を行う。更に、会議の中で、各校が進めている学力向上に向けた取組について情報を共有したり協議したりする場を設けることで、今後の取組の活性化を図る。
- 毎月、学力向上推進リーダー、英語教育推進教員とともに学力向上対策会議を開き、各校における学習状況や授業づくりについての情報や成果・課題を共有する。更に課題を踏まえた上で、授業改善の視点を明確にしなが、同一歩調で各校の指導に当たるようにする。また、各校への訪問の中で、学力向上につながるような取組があった場合には、学力向上便り等で広めていく。
- 学校がもつ教育力を更に高めるために、周南市教育研究センター主催の若手教員の研修会等を通して、教師の指導力向上、授業改善の支援に努める。また、小中連携やコミュニティ・スクール等、地域の教育力を活用した指導場面の設定や校内研修を促進する。
- 1人1台タブレット端末を活かした授業についての実践事例を集め、web上で閲覧できる仕組みを構築し、活用促進に努める。